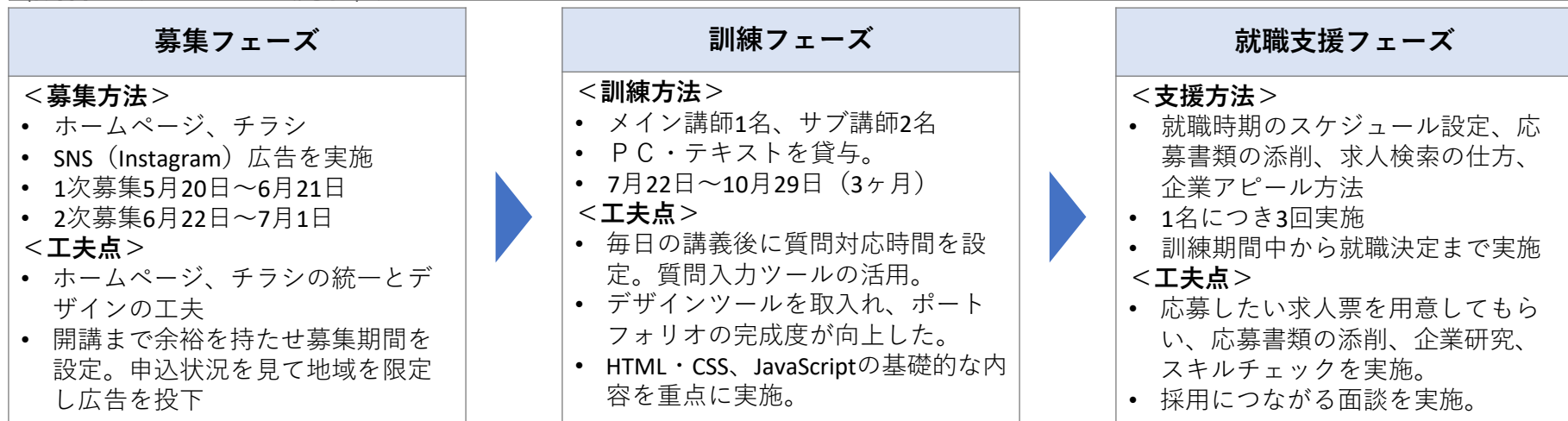


〈訓練パッケージの全体像〉

受講対象者の属性		就職氷河期世代（現在求職中、非正規雇用者）
受講対象者が直面している課題		経済状況の悪化により新卒での就職が困難な状況に直面した世代であり、現在も正規雇用ではなく非正規等の不安定雇用に留まっている方が多い状況となります。特に非正規の期間が長くなっている方においては、正規雇用による終身雇用や安定したキャリアパスを築くことが難しくなっています。
訓練概要		今後さらに多くの需要が期待されるIT業界への就職を目指すため、WEBプログラミングの基礎を習得します。多くの企業がIT人材を求めており、これまでのスキルと訓練で新たに身に着けた知識を活かすとともに、実践的なプログラムでスキルを身につけることで、競争の激しい就職市場での差別化を図り、安定した正社員を目指します。
訓練の新規性	既存訓練の課題	既存訓練では、通学式の1日6時間講義が標準であるため、居住地や生活環境から受講が難しい人が見受けられた。地域によってWEB関連の訓練を実施していない状況もあり、これまで学習の機会が少なかった。
	本訓練での試み	オンラインで実施することで在宅で受講が可能。週4日、1日4時間講義のため非正規雇用の方はシフトを調整することで働きながら受講ができ午後の時間は与えられた課題に取り組むことができる。既存訓練では、アドビ社におけるデザインソフトの操作などを中心とした訓練を実施してきた。そのため、専門ソフトに頼らずともWEBページを制作でき、環境に左右されずに業務を進めることができる、プログラミングに関連する知識を習得することで、IT関連への就職の幅を広げることが可能な訓練設定とした。
カリキュラム		・HTML/CSS ・JavaScript ・Figma ・WEBサイト制作演習 ・ネットワーク概論 ・色彩学 ・コンセプトメイキング ・プレゼンテーション ・就職支援



〈試行結果〉

試行時期	2024年7月～10月	試行エリア	東京都
受講者数等	受講定員：30名 受講者数：30名 修了者数：25名		
就職状況	正規就職者数：2名 非正規就職者数：18名		
結果に対する評価			
就職率は目標達成できたが、Web業界では未経験者の正規雇用求人が少なく非正規雇用で実務経験を積むキャリア形成が一般的。非正規が増えたのはしっかりとスキルを学び、希望の職種に就職ができたことの証明と考える。また、訓練内容や実施方法についてもアンケート結果から満足度が高く、その結果が就職率に現れたと考えます。			
効果が得られた施策とその要因			
- 募集期間を長く設定したことにより定員30名のところ110名の応募があった。全国を対象としたためSNSを活用し広く募集を実施することができた。また、開講までに辞退者も発生したため繰り上げ合格をすることで30名で開講できた。 - 様々な業界にてWEBサイトやSNSを活用し売上や集客UPを図るため、企業が求める採用ニーズに沿った内容とすることで幅広い就職につながった。訓練の中で制作した作品は、就職活動の際のアピールにつなげることができた。 - 毎日30分の質疑応答時間を設け、時間の足りない部分は質疑応答で対応することで受講満足が上がった。（質問もルールを定めることでトラブルもなかった） - 訓練期間から就職時期や方向性について明確にすることで早期に達成できる目標を設定した。悩みを解決する面談ではなく、設定した目標から採用につながる面談を効果的に実施した。担当したキャリアカウンセラーもWEB業界における経験が長く専門性が高い講師を選定したことも、就職率への大きな要因となった。			

〈今後の訓練手法活用に向けて〉

今後の課題及び改善策
【課題】 - 就職氷河期世代向けであったが、時間をかけ学習しても、業界的に若年層を求めているケースが多く就職が難しい状況である。他の業種においても正社員求人は経験者優遇などが多い。 - ITWEB関連の業種は高いスキルが必要なため、専門性を身に付けるためには全体的に訓練時間が不足。 【改善策】 - 未経験者でも応募可能な求人情報の開拓。これまでの経験値や成果など企業へアピールする。 - 訓練時間の延長やカリキュラムの見直しを行い、より専門的なスキルが身につくようにする。また、業界のニーズに合わせた実践的な内容を取り入れる。